

「真のパートナー」

滋賀銀行 常務取締役 若林 岩男



6月に行われた英国の欧州連合(EU)離脱をめぐる国民投票は、世界のマーケットに大きな混乱をもたらしました。世論調査では残留、離脱が拮抗していたものの、直前のブックメーカー(賭け屋)の予想では8割が残留を支持していたことから、離脱派が優勢との投票結果が発表されるたびに強烈なリスクオフの展開となり、円高・株安をもたらすことになりました。

これはマーケットのおごり、すなわちグローバル化が進めば世界経済は大きなメリットを受ける、あるいは、理性的に考えれば離脱はありえない、とするマーケットの勝手な思い込みが招いた結果だと考えます。さらには、移民の流入により雇用や賃金状況が悪化した、と考える人々の感情やグローバル化による格差拡大の問題を軽視した結果かもしれません。

一方で、英国内の格差拡大による混乱は、米国の「トランプ現象」とも重なる先進国の構造的な問題と捉えることができます。さらには、中国経済の減速やブラジル経済の低迷、多発するテロなど、世界はますます混迷の度を深めています。これらの事象は、戦後築かれてきた先進国中心の世界秩序が大きく変化し始めていることの証左であり、世界はまさに、これまでの経験が通用しない新たな時代を迎えているように思われます。

私は、このような先行き不透明な時代に必要なのは、地図なき道とともに歩み、新しい価値を創造できるパートナーの存在ではないかと考える次第です。私どもは、地域金融機関としてその役割を果たすことは言うまでもなく、皆さまのお役に立ち、ご期待に添える真のパートナーとして、全役員が一層努力してまいります。

しがぎん
TOPICS

『『しがぎん』エコビジネスマッチングフェア2016』を開催

当行は7月6日、『しがぎん』エコビジネスマッチングフェア2016』を琵琶湖ホテルで開催しました。お取引先88社・団体が出展し、1,420名のお客さまにご来場いただきました。

本フェアは、当行が持つ豊富なネットワークを活用し、環境ビジネスや医療・健康関連産業に取り組みされるお取引先の販路開拓・技術提携・共同開発などの新たな事業展開にお役立ていただくものです。当日は583件の商談が行われ、この日だけで5件、6億円を超える契約が成立するなど、活発な交流の場となりました。

9回目の今年は、「エコプロダクツ」分野を新設。各社の特色あるエコ製品が展示されました。また、昨年に引き続き、金融サポートコーナーでは、「クラウドファンディング」の取組事例を紹介。地域資源を利用した新商品・サービスの提供に取り組む事業者に対し、当行とミュージックセキュリティーズ株式会社が提携して行うサポート内容や、現在募集中のファンド等について、実際の製品やパネルを使って展示しました。

当行は「未来創造型銀行」として、「地域・お取引先の成長なくして当行の成長なし」との思いを胸に、さらなる地域経済の活性化に努めてまいります。



出展ブースでは、活発な交流・商談が行われました